



よしかわ

News from Yoshikawa City Council

No. 185

議会だより

2020.5

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒：342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議事会事務局 直通)
FAX.047 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>

- 定例会概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 代表質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 議案審議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 答えて市長！一般質問・・・・・・・・・・ 9
- 議員提出議案(請願・意見書)・・・・ 12
- 審議結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

3月定例会 概要

令和2年3月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、会期日程を短縮し、2月25日から3月16日までの21日間の開催となりました。

今定例会では、市長の施政方針に対し、各会派が代表質問を行いました。（代表質問の要旨は4ページから5ページ）

また、一般会計予算をはじめ、各特別・企業会計の当初予算のほか、吉川市文化芸術振興基金条例などの市長提出議案28件、市民から提出された請願1件、議員提出議案として4件の意見書などを審議し、議決しました。（議案審議の内容は6ページから8ページ、請願・意見書の内容は12ページから13ページ）なお、「市政に対する一般質問」は、新型コロナウイルスの影響により取りやめとなりました。（一般質問の要旨は9ページから12ページ）

当初予算

新年度 一般会計予算

230億3199万9000円でスタート

令和2年度一般会計予算

こんなことに使われます

◆市民参加推進事業・自治会活動支援事業
5350万円

「みらいステップアップ助成金」や「市民シンクタンク」事業を継続するとともに、自治会活動や地域自治について専門家を招き、自治会活動を支援します。

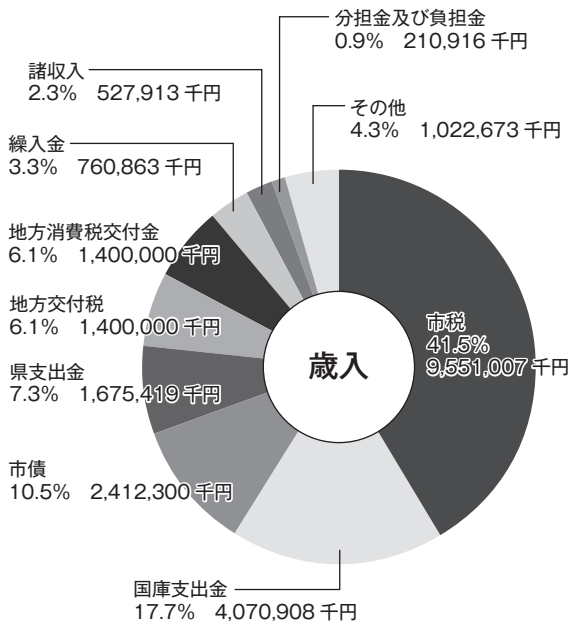
◆障がい者支援に関する事業
2億9558万円

障がいのある人が困ったときに「ちよつとした手助け」を行う「あいサポート運動」を実践し、誰もが暮らしやすい社会の実現を進めます。

◆公園維持管理事業
2億6081万円

身近で親しみのある公園として、公園施設の適正な維持管理を実施するとともに、市民や管理団体との協働による維持管理を併せて推進します。

会計



●特別会計

会計別	予算額 (千円)	前年度比 (%)
国民健康保険	6,674,177	△4.4
農業集落排水事業	30,538	0.7
介護保険	3,904,968	2.0
後期高齢者医療	747,071	13.9
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業	3,695,375	48.7
合計	15,052,129	7.1

特別会計など

新年度予算決まる

5つの特別会計と水道事業会計、下水道事業会計の令和2年度予算は左表のとおりです。

主な議案のあらまし

○吉川市道路の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例
国の法令改正に伴い、自転車通行帯に関する基準を定め、用語の整理を行います。

○吉川市文化芸術振興基金条例
文化芸術の振興を図るため、基金を設置します。(議会注目の議案、7ページ)

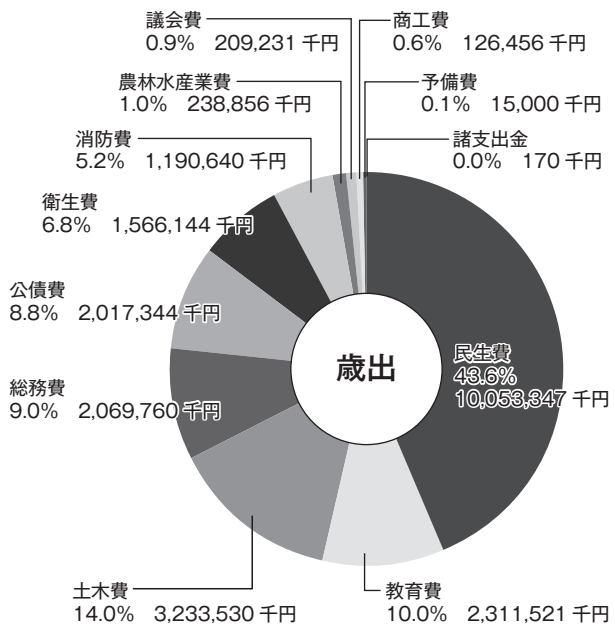
○請負契約の変更契約について
越谷吉川線の整備にあたり、大場川にかける橋台設置工事について、作業ヤードを設置するため、請負額と工期を変更します。

人事案件
○教育委員会委員
教育委員会委員の神田美栄子氏が令和2年4月22日をもって任期満了となるため、その後任として荒井一美氏を任命することに同意しました。

○監査委員
監査委員の大家将平氏が令和2年4月22日をもって任期満了となるため、再度任命することに同意しました。

○監査委員
監査委員の大家将平氏が令和2年4月22日をもって任期満了となるため、再度任命することに同意しました。

〈一般



◆公共交通機関整備改善推進事業 3266万円

高齢者の地域生活を支える移動支援として、平成29年12月より試行的に始めた「タクシー利用料金助成事業」が試行期間の終了を迎えることから、事業の検証を行うための検討会を実施し、公共交通の充実に努めます。



◆減災対策事業 3603万円

「減災意識、自助・共助の意識の向上」、「将来にわたる地域減災の担い手の育成・発掘」を目的し、「地区が行う自発的な防災・減災活動に関する計画の策定支援」を行うほか、「避難行動要支援者への迅速かつ確実な避難情報の提供」を図ります。また、「洪水ハザード標識の設置」、「災害用ツール型トイレ設置」、「中央中学校防災倉庫修繕」についても取り組みを進めます。

◆教育指導推進事業 2290万円

平成30年度から実施しているいじめ・不登校対策プログラム「勇者の旅」をこれまで取り組んできた北谷小学校・関小学校に加え全小学校に導入します。また、学びと育ちの連続性を重視した教育の充実を図るため、市内全ての小・中学校での小中一貫教育を推進し、児童生徒の学力・体力向上や非認知能力の向上を図っていきます。



◆企画調整事業 2546万円

令和4年度を始期とする、第6次吉川市総合振興計画を策定します。令和2年度は、審議会の開催や市の現状分析等の基礎調査を実施します。また、吉川美南駅東口地区の文化施設など、公共施設整備について検討します。

●水道事業会計

収益的収入及び支出	予算額 (千円)	資本的収入及び支出*注	予算額 (千円)
水道事業収益	1,570,017	資本的収入	148,992
水道事業費用	1,519,700	資本的支出	1,112,826

●下水道事業会計

収益的収入及び支出	予算額 (千円)	資本的収入及び支出*注	予算額 (千円)
下水道事業収益	1,423,611	資本的収入	775,422
下水道事業費用	1,413,341	資本的支出	1,012,034

注：資本的収入が資本的支出に對し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんす。

中原市長の施政方針に

会派代表者が問う！

◆市長の施政方針より◆

- ▼市民の安全・安心を高める
- ▼子どもの笑顔で満たされるまちをつくる
- ▼まちの価値を高める
- ▼まちの住みよさを高める

力強い「市民との協働」を先頭に、市民一人ひとりが幸福実感を得られる未来「持続可能な未来」という「価値ある未来」に向け、「計画と実行」をさらに前進させる一年とします。

未来会議

よしかわ

戸田 馨



◆市民の幸福実感の向上のために

問 「市民との共働」「市民の幸福実感向上」の実現を考察する中で、特に「幸福実感」については数値化することが難しいものであると考えるが、市民の幸福実感向上のため、人物や功績に対し、市からの敬意と評価をお示しできる新たな手法（新しい表彰制度のあり方等）の検討について、考えを伺う。

答 「市民の幸福実感の向上」は、基本構想に掲げるまちづくりの基

本理念の一つであり、職員と共に目指すべき最大の目標である。しかしながら、施政方針でも申し上げたとおり、幸福実感の向上は行政が作り上げ市民に与えるものではなく、市民と行政の共働から生まれるものであることから、ご提案の「幸福実感につながる活動を行う市民や団体に敬意や評価を示す」とは、次の新たな共働を呼び起こし、更なる幸福実感の向上をもたらす有効な手法であると考える。現在、市では、「吉川市表彰条例」に基づき、市政に功勞された方や、他の模範となった方などに対し、その功績をたたえ表彰しているが、ご提案の内容を踏まえ、新たな手法について検討してゆく。

公明党

吉川市議団

小野 潔



問 ①9回にわたってこのSDGsの言葉が出てくる。SDGsはこの10年が達成にむけた「行動の10年」としている。市長の達成への所見を問う。②災害時要支援者の見守り・声かけは、地区防災計画策定と大きく関係

において市民の移動に係る利便性向上は。

答

①第6次吉川市総合振興計画の策定にあたり、SDGsの視点を踏まえ、10年後の未来を見据えた計画を作る。②地区防災計画の中の「地区防災マップ」を作成し、災害時要支援者の情報をマップに落とし込む。③4つの中学校区に分け、9年間の学びと育ちをつなぐ教育課程を編成する為、地域に理解と協力を頂き、「地域と共

次回の減災プロジェクトでは内容を精査した上で研修について

自由民主党

吉川市議団

松崎 誠



問 旭地区の減災プロジェクト実施について、事前に地域の自治会役員等の方々に災害HUG（避難所運営ゲーム）を体験研修されてはと考えますがいかがでしょうか。

答 今後の吉川地区、二輪野江地区、旭地区の市域バランスをどう考えているか伺います。

問 それぞれの地域のニーズ、子育て、教育、インフラ整備の充実を図ることでバランスの良い発展が出来るのではと考えています。また、市全体のバランスを考えた上でも三輪野江の開発、テクノポリスの拡張を実現していきたいと考えています。

4

する、具体的には。③「小中一貫教育の導入」「コミュニティスクール（学校運営協議会の設置）の導入」④「吉川市文化芸術振興基金」の創設にあたり、バックボーンともなる「（仮称）吉川市文化芸術振興条例」の制定が必要と考えるが。⑤「新たなモビリティサービスによる『まち』づくり協議会

にある学校」を推進していく。④文化芸術の土台となる条例なので、早い段階での制定を検討したい。⑤協議会の構成市町と協力連携していく。

日本共産党

吉川市議員団

遠藤 義法



問 木売落しを活用した二重構造の貯水施設の事業見直しの状況は。中川改修で共保ポンプ場のポンプ増設は可能か。

答 貯留施設事業が国の補助金対象となるのが難しく、計画を見直しせざるを得ず、改めて検討する。排水ポンプの増強が可能かどうか、江戸川河川事務所と協議する。

問 JR吉川駅北口改修の構想案を伺いたい。
答 北口の歩道の凹凸、車両の混雑などの課題がある。現況測量を行いバリアフリー化や混雑解消に向けて警察など関係機関と協議し検討する。

問 江戸川河川防災ステーション内の市の施設設置の計画と住民説明は。
答 江戸川河川事務所と連絡をとり、適切な時期に地域の方と活用方法について検討していく。

問 市内の農産物を学校給食に活用すべきである。
答 様々な困難はあるが取り組んでいく。

問 国保加入者のなかで税の負担が重すぎるとの声が多くある。県にも財政的負担を求め均等割や加入者負担軽減の施策実施をすべきである。
答 低所得者対策などに公費の拡充が図られるなど、保険税の軽減に寄与している。

問 吉川市文化芸術振興基金の目的は「演劇プロジェクト」への基金に特化しているのでは。
答 吉川市文化芸術振興基金の目的は「演劇プロジェクト」への基金に特化しているのでは。

検討してまいります。

問 4月から吉川中学校が開校、ICTの先進的な活用、SDGs、教職員の働き方改革を積極的に推進しその具体的な取組を伺います。
答 学習指導要領に求められている主体的で対話的で深い学びが新たな学習方法で実現できるように

問 市民の会・無所属 齋藤 詔治
おあしすの元「はーとふるぽつ」と店舗跡現在閉鎖されているを市民のために開放との請願が議会にて採択されている。いつ開放するのか。市民の皆様のフリースペースとして、速やかに開放する方向で進めて参ります。

市民の会
・無所属
齋藤 詔治



問 吉川市文化芸術振興基金の目的は「演劇プロジェクト」への基金に特化しているのでは。
答 吉川市文化芸術振興基金の目的は「演劇プロジェクト」への基金に特化しているのでは。

問 地盤・地質調査等の対応は。現段階での調査の必要はない。
答 現段階での調査の必要はない。

問 吉川市文化芸術振興基金の目的は「演劇プロジェクト」への基金に特化しているのでは。
答 吉川市文化芸術振興基金の目的は「演劇プロジェクト」への基金に特化しているのでは。

問 本年は、演劇プロジェクトに活用して参りたい。
答 三輪野江地区インター周辺への農業パーク構想は、地元住民の賛同は得られるのか。まず開発を目指した三郷市との連携による計画の推進を。

問 今後素案をもとに地元の皆様などのご意見を伺いながら作成して参りたい。
答 吉川美南駅東口周辺土地地区画整理事業は、多くの問題が発生しており、市は、工事をストップしてでもまずは問題の解決を図るべきでは。

問 ここは吉川市の未来を決める大事な場所であり、多くの人達、全国的にこの開発を注視しております。適切な盛土造成・適正な価格処分です。

問 吉川市文化芸術振興基金の目的は「演劇プロジェクト」への基金に特化しているのでは。
答 吉川市文化芸術振興基金の目的は「演劇プロジェクト」への基金に特化しているのでは。



市長提出議案／委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆令和元年度一般会計補正予算
バス運行管理業務委託料の
350万円減額理由。

なまりんバスの年間運行予定
日数160日に対し、利用が
144日(2月末)だったため
90ある自治会の利用は難しく、
自治連合会単位の利用をお願い
している。

賛成全員で可決

◆令和2年度一般会計予算
会計年度任用職員について。

臨時職員と非常勤特別職、合
せて378名を予定し、総額約
6千万円の負担増となる。

タクシー利用料助成事業の利
用状況と見込み。

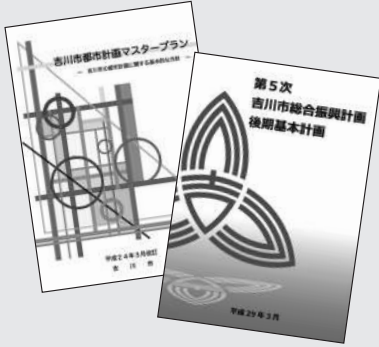
対象者1790人、交付率は
42・5%。利用率56・8%。令
和2年度は対象者2千人、交付
率45%、利用率75%を見込んで

いる。また当事業の検証を行う
予定。

総合振興計画と都市計画マ
ス
タープランを合せて策定する
ということだが、その関係性とス
ケジュールは。

両計画を一体的に策定するこ
とで、基礎調査、市民参画など、
委託を共有できる。1年目に基
本構想、2年目に基本計画の策
定を予定。

賛成多数で可決



◆吉川市水道事業会計予算
石綿管、老朽管の更新予定。

石綿管は約28km残っている
(平成30年度末時点)。水道ビ
ジョンを踏まえ、10年間の具
体的な施設更新の実施計画を策定
し、それに合わせ、管路の更新
を進めたい。

賛成全員で可決

◆吉川市におけるパートナー
シップ認証制度(仮称)および
性的少数者に関する諸問題への
取組みに関する請願

賛成多数で採択

文教福祉常任委員会

◆吉川市文化芸術振興基金条例
まず文化芸術を振興する条例
を定め、方向性が出た中で基金
を設置するべきでは。

文化芸術振興に係る条例の制
定については、現在検討している。
市民や既存団体との話し合い
の状況は。

文化芸術振興については、公
民館とおあしす等、主な活動場
所となる施設の修繕など施設面
の整備をしてきた。あわせて、
文化連盟への補助金を交付して、
市民文化祭や文化芸術祭など市
民と一緒に事業を行う中でコ
ミュニケーションを図っている。

賛成少数で否決

◆令和元年度一般会計補正予算
吉川中学校の現在の状況は。

本体工事は1月末で完了し、
現在外構の一部で工事が行われ
ている。また、2月からは備品
搬入が始まり、継続して行われ
ている状況である。

賛成全員で可決

市民全般から文化芸術振興に
ついての機運が感じられない中
で、企業から寄附金があったこ
とをどう考えているか。

附帯意見を受けて、どのよう
に寄附を募るかについて考え、
歳入に係る事務処理などを整理
し、演劇プロジェクトなど文化
芸術振興の取り組みをPRする
中で、寄附金箱を設置し寄附を
お願いした。今後は、広報や



建設生活常任委員会

◆工事請負契約の変更契約の締結について

(越谷吉川線整備工事) 工期が半年伸びる要因と完了時期について。

大場川河川区域内の工事となるので、河川管理者である県と随時協議を行いながら施工している。施工の細かい段取りを協議しながら決めていくため、協議に時間を要した。施工の完了時期は河川内の工事は5月末、河川区域外の工事は9月末の完成予定。

賛成全員で可決

◆令和元年度一般会計補正予算
市民農園の工事請負費の整備
内容と減額理由について。

工事内容は3点。管理棟東側砂利駐車場出入り口の両側門扉撤去工事。既存の砂利駐車場を平らにした。農園内通路部分の整備をするための砂利敷き工事。なお、減額理由は入札の結果で差額が生じた。

ふるさと納税が増額となっているが、その内容と件数について。

令和元年度予算として、前年度実績で1100万円を計上したが、今年度の寄付の伸び率から、決算見込みを700万円プラスした。寄付件数は892件。

賛成全員で可決



◆令和2年度一般会計予算

男女共同参画推進事業費のし
GBT理解推進の事業について。

イベント開催等を考えており、ぜひ当事者の声をお聞きしたいと思っている。

三郷料金所スマートインター
フル化の予算の内容について。

常磐自動車道の北側側道と、県道バイパスとの交差点部分の測量と今後の工事の必要性などを検討するもの。

賛成多数で可決

注目の議案

◆吉川市文化芸術振興基金条例

文化芸術の振興を図るため、文化芸術振興を目的に寄附をいただいた金額を積み立て運用する吉川市文化芸術振興基金を設置するもの。

本議案に対し4名の議員が討論を行いました。

反対討論

○吉川 敏幸

①文化芸術振興条例の策定、②幅広い文化芸術活動への基金の遣い方の決定過程の問題。③寄附の募り方では持続可能性の問題、全てにおいて、執行側は「今後は」という答弁でありました。よって、私たちは、この条例案は計画性や十分な検討がなされていないと判断し、反対とさせていただきます。

○遠藤 義法

市は、文化芸術振興基金をつくり文化芸術の振興につかっていくとしているが、来年度は演劇だけに使う計画である。

演劇をやっていくという市長

追加議案

◆訴えの提起について

越谷都市計画事業吉川美南駅周辺地区土地区画整理事業の施行に当たり、土地区画整理法第100条の2の規定により市が管理することとなった土地を相手方が次のように占有していることから明渡しを求めてきたが、応じてもらえなかったため、土地の明け渡し及び訴訟費用の負担を求めたもの。

○吉川市大字高久字小帳972番地3ほか3筆に相手方が重機等を残置し占有。

○吉川市大字高久字小帳1004番3ほか1筆に相手方がコンテナハウス等を残置し占有。

◆令和2年度吉川市吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業補正予算

既定の歳入歳出に1360万円を追加し、歳入歳出予算の総額を37億897万5千円とするもの。内容は、前述の訴訟に係る費用を追加したもの。



8ページへ
続く

追加議案続き

「訴えの提起について」に対し、2名の議員が討論を行いました。

反対討論

○稲垣 茂行

市長は施政方針の中で、「事業は、地権者の協力を得て着実に進んでいる」と述べたが突然、「裁判」を提起。

重機等の残置理由や事業への具体的影響、相手方との折衝経過、裁判の見通し等、不透明な中での判断は危険。

調査・検討の上、6月議会会で再審議すべきと考え、反対。

○伊藤 正勝

新型コロナウイルス対策に伴い、議会は会期を短縮。その中の追加議案。5人の議員が立ち、「土地明け渡し」の話し合いや交渉、経過や内容を質問。責任者の市長がどう対応し判断したのか。自ら説明し納得の努力をするのは当たり前のことです。終始無言は理解できず、これでは、賛成できない。

予算

一般会計予算討論

一般会計予算に対し、3名が討論をおこないました。

反対討論

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法

旧市役所跡地の再利用や三輪野江の農業パーク構想など市の計画、財政が大きくかわる事業が市長の意向が先行し、市の事業として追認している。市民参加と市職員の英知を集めた事業とすべきである。

市の施策・事業は特定の地域や特定の団体を対象とせず、市民全員対象にすべきである。

①旭、三輪野江地域を中心にタフシー利用補助事業を試行的に実施したが、公共交通事業はすべての市民を対象とすべきである。

②子どもの貧困対策は当然であるが、中間層も含め生活はきびしく、子ども施策は原則全ての子どもを対象に実施することが大事である。

③市街化調整地域の公園整備や舗装などの環境整備が後回しになっている。何よりも市民の方がそう受け止めている。

賛成討論

未来会議よしかわ

林 美希

各種経済報告を見ると、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要があるとされている。今回の困難に対し「各地域が地域内経済循環を促進し自立を目指すこと」「多様な働き方が推進され、多様な生き方を選択できる土壌をつくること」「市民ひとりひとりが自らの幸福を定義し、追求していくこと」が必要であると感ずる。そうした観点から改めて施政方針を見返すと、吉川市への愛着心や幸福実感の向上につながる事業、市民のみな

さまと協働し社会課題を解決するための事業がしっかりと重要視されていた。

投票という形で意思を示すことができない子ども達を含めた全ての市民のため、公平公正で筋が通った議決と持続可能な未来を描くことを誓い、審議の結果賛成の立場を示す。

公明党吉川市議員団

五十嵐 恵千子

令和新時代が本格始動となる重要な年度です。

施政方針の基本的な考え方に賛同した上で、①減災力向上と体制強化を図る人材育成や水害関連標識の設置。②自治会や民生児童委員等へ災害時要支援者名簿の配布及び支援者向けマニュアルの作成。③子どもの貧困対策や児童虐待に一層支援の輪を広げる。④いじめ・不登校対策として勇者の旅プログラムの実施。⑤吉川駅のバリアフ



リー化。⑥高齢者タフシー利用料助成事業の継続と新たな移動支援。⑦障がい者雇用の促進。等々、これまで公明市議員団が提案してきた多くの事業が盛り込まれており高く評価します。市民一人ひとりの幸福と市政の発展が一致する、名実共に住みよいまちづくりへ、職員が一人丸となり、全力を尽くされる事を願い賛成とします。

答えて市長！一般質問

「コロナウイルス感染症対応のため一般質問を取りやめ」

市執行部への業務への影響を考慮し、
感染拡大予防のため、

予定されていた12名の一般質問を取りやめました。

予定されていた一般質問について、後日、書面にて回答がありましたので、
質問者が要約してお知らせします。

[経緯]

3月2日、議会運営委員会において、一般質問を実施すべきか検討されました。市内に感染者はなく、一般質問の日程まで日にちがあることから、早々に中止を決定するべきではないと、状況変化を注視することとなりました。その後、市内事業所に勤務する方が新型コロナウイルスに感染したとの発表をうけ、3月10日に議会内で再度協議を行った結果、市執行部への業務への影響を考慮し、感染拡大防止のため、今定例会での一般質問を取りやめることを決定しました。

なお、稲葉剛治議員・林美希議員の2名は、3月2日の議会運営委員会終了後、本人の申し出により一般質問を取り下げました。



「断らない」相談窓口設置 と支援導入を

五十嵐 恵千子



問 市民の暮らしが多様化する中、個人が抱える課題は複合化・複雑化し、何処へ相談してよいか判らないといった声があります。当市も「誰ひとり取り残さない」SDGsの視点で、市民の様々な相談を「断らないで」受け止め、ワンストップで問題解決をする窓口設置と支援体制の拡充を。

答 当市では、子育て支援、生活困窮者、障がい者支援、高齢者支援に、各々、担当ケースワーカーや専門職員を配置し問題解決に努めている。また、その過程において、複数の問題を抱えるケースは担当者や関係機関へ適切に繋げることを基本に、複合化・複雑化した相談については、関係機関による会議を開催し、アセスメントを共有し、支援や役割を調整しながら、解決に向けた連携も図っている。お尋ねの、SDGsの視点も踏まえた「断らない相談窓口設置と支援導入」については、当市における現状の分析、市民ニーズ、人材の確保、地域資源の状況等を踏まえながら、当市の支援スタイルに一番見合った形を目指して、具体的な検討に向けた作業に着手する。

木売落し貯留計画は見直し 調整池設置も現時点は困難

降旗 聡



問 浸水（内水）対策は喫緊の課題。吉川駅北口周辺地域の治水対策としての「木売落し貯留計画の経過と課題、今後の進め方」について。

答 総合治水計画において、降雨量が3年確立から5年確立になり、この増加分に対応するために検討を進めた。検討を進める中、毎年のように長時間連続した豪雨が発生していることから、機械や設備の増強に加え、軟弱地盤への対応など、事業費が増大したため、事業費の抑制を検討した。しかし、最終的に補助金交付要件の費用対便益比を満たすことができず、計画を見直すことを今年1月に決定。今後は、改めて様々な手法について検討していく。

問 吉川駅北口地域・南中学校周辺地域の対策として、大規模調整池設置の考えについて。

答 雨水貯留は、区域外貯留、排水区の変更、整備する場所なども含めて、事業化に向けた手続きや財源など様々な課題がある。また、ポンプでくみ上げるのではなく、高低差を利用して池への流入を行わなければならないなど、技術的な制約もあり、現時点では非常に困難であると考えている。

八坂祭りを市民の誇り となるお祭りにするために

赤出川 義夫



問 吉川市民全体が参加できるような取り組みについての考えを伺いたい

答 歴史ある八坂祭りは、市内外に誇れるお祭りであり、観光協会として支援をさせていただいている。地元から引き続き神輿競演の吉川駅前開催要望があります。八坂祭りは、市の魅力発信に大きく寄与するものであり、地元の方々と連携を図り取り組んでまいります。

問 中川の堤防高上げの完成予定について

答 江戸川河川事務所に確認したところ、平成30年度に高久雨水ポンプ場西側において、試験盛土を実施し、沈下量などの検証が行われたところで、工事の完成時期は未定。昨年台風19号で河川水位が、氾濫危険水位を超えたことを踏まえ、早期に工事着手されるように要望してまいります。

問 成年後見制度について市の取組を伺います

答 認知高齢者が増加していくと予測、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、8期吉川市高齢者福祉計画の策定において支援体制の整備を検討してまいります。

予測不能な自然災害に対する 防災・人災について

大泉 日出男



問 台風19号を受けて①防災ラジオ導入の今後の方向性②防災意識可視化による「浸水深」はいつどこに③避難場所指定の体育館にエアコン設置と避難場所環境は④避難所受入れの状況、要支援含め、過ごし方、主な声、今後の課題等は

答 ①導入に向けて未だ調査研究中②早期に幹線道路37箇所に予定③導入は現段階では未定で困難④避難が先立った為備蓄品は携行せず毛布、敷物、飲食物の要望があり今後は自主防災組織の運営が必要で自助の視点から常に備蓄や啓発運動を進める

◆まちの価値を高める新たな競争力、成長を生み出す 経済産業政策について

問 ①商業活性化を含めてどのような競争力を検討②中小企業の後継者の課題について③人口減少にむけ新しい産業次世代通信規格5Gを取り入れる所見④当市プレミアム商品券の検討導入の展望は⑤住宅改修補助金の増額予算と時期。

答 ①農商工連携し産業振興計画を着実に遂行する②国税制の事業継承の在り方をセミナーで実施周知③動向注視する④調査研究を継続⑤6月頃受付3月改修終了で昨年より微増の予算措置。

三輪野江産業振興地域における 資材置場の安全対策を

飯島 正義



問 三輪野江地域においては近年様々な事業所と同時に資材置場が乱立している状況です。三輪野江2351番地の資材置場では、鉄筋、鉄骨の切断及び運搬がされています。早朝から深夜2時頃までの操業による騒音被害が起きています。市の対応経過と今後の方向性について質問します。

答 三輪野江の資材置場は、平成29年3月頃に都市計画法違反の状況の中、事業を開始しました。平成30年1月28日に初めて騒音の相談が担当課に寄せられ、立ち入り調査を行うとともに騒音対策指導を行いました。その後、現場確認とともに改善指導を継続しています。早朝、夜間の作業における作業騒音について近隣の方から相談を受けることがあり、今年に入ってからも2月3日の相談を機に作業場の立ち入りし、深夜に及ぶ作業を認めため、厳しく指導しました。今後は、作業時間の徹底を引き続き指導するとともに、事業者の騒音対策の実施にあたり、開発行為を所管する都市整備部とも調整を図りながら対応します。

商工業施設等と協定を結び、 水害時の避難所確保を

雪田 きよみ



問 地球温暖化の影響を受け、豪雨災害が頻繁に繰り返されている。吉川市でも近い将来必ず大規模な災害が起きるのではないかと、多くの人が不安を抱いている。吉川市洪水ハザードマップでは、中川・江戸川・利根川の氾濫それぞれで広範な浸水被害が予測されている。大型水害の際、避難が必要と見込まれる世帯数、避難者数は。

答 気候や河川の条件、避難者の避難可否等様々な状況が考えられ、避難者数の想定は困難。

問 最大何人程度収容できる見込みか。

答 水害時の指定避難所として全17カ所、最大収容人数は9,867人。

問 2階までの浸水被害の場合、避難所難民が発生するのではないか。見解は。

答 一部地域では2階まで浸水被害の恐れがあり、自らの命を守る行動をとっていただく必要がある。

問 マンションや工業・商業施設を避難所として利用する協定の締結が必要ではないか

答 中高層の民間建物を緊急一時的に利用することは重要。建築物所有者や管理者と協定締結などの協力体制構築に務めていく。

「まちづくり」の
基本的姿勢を問う

稲垣 茂行



問 先の市議会議員選挙の結果をどう受け止めたのか。
答 有権者が選んだ選挙結果に対し、言う立場がない。市民の負託に応え、市の発展に尽力されることを期待します。

問 二元代表制をどう理解されているのか。今後、「議会」とどう向き合っていくのか。
答 二元代表制の趣旨を踏まえ、実りある議論を行い価値ある未来を目指す。

問 市民参画、意見の収集、情報の提供、協働についての考えは。
答 市民参画条例に基づき、市民参画、協働によるまちづくりを進めてきましたが、引き続き市民の意見に耳を傾け、施策・市政運営に反映できるよう推進していく。

問 市長の役割とリーダーシップについての認識。これまでを振り返り、自己評価は。
答 市民と行政の「共働」を踏まえ、責任と矜持をもって政策を決断し実行することが市長の役割だと考える。市長就任以来、全力で取り組んできたが、評価については市民に任せたい。

屋外スポーツの現場に
AEDの設置を

成本 直寛



問 現在、吉川市内には自動体外式除細動器（以下AED）が設置されておりますが、屋外スポーツが行われている美南中央公園や中曽根公園等に設置されておられません。スポーツ現場の安全性を高めるために設置していくべきではないかと考えます。市のお考えをお伺いいたします。

答 スポーツを実施する施設においては、AEDを設置することが望ましいと考えております。小中学校につきましては、AEDの設置場所を屋内から屋外に変更したところでございます。しかし、公園については、点検や管理が難しいことに加え、盗難やいたずら等による損傷のリスクが高いなど適正な維持管理が難しいことから、設置場所には適さないと考えております。必要な時に速やかにAEDを使用するためには、事前に設置場所を把握していただくことが重要であることから、引き続き市ホームページなどで設置場所の周知を図ってまいります。



コロナ対策。防災・減災
危機管理に万全を！

伊藤 正勝



問 足場を固めて、「今」に注力。万全の危機管理を。まず、コロナ対策について現時点（3/16）での取り組みを伺いたい。

答 教育委員会関係だけで61件の事業、イベントを中止している。保育所については通常通り。学童保育室は小学校低学年と特別支援学級の児童を対象に保育を実施。幼稚園は一部で休園も。商工業については飲食業などから予約キャンセルで先行き不安との声。融資の問い合わせも数件あり、長期化に備えて対応していく。

問 防災、減災について。先の台風（19号）による教訓は、どう生かすのか。

答 想定以上の794人の市民が避難した。▽職員体制の再構築を検討▽地域主体の避難所開設と運営のマニュアル作り▽避難時に必要な携行品についての啓発等につとめたい。

問 休日、夜間、緊急時の体制は。市内在住職員の現状についても伺います。

答 先の台風では222人の職員が対応した。市内在住者は208人で50.2%。会計年度職員の活用は現時点では考えていない。

豪雨災害に対する
総合的な治水対策は

遠藤 義法



問 吉川駅前の治水対策と中川の河川改修、水底を掃うことで貯水能力の増の見込みは。

答 吉川駅前の治水対策は、ポンプ設備の増強と雨水貯留などの手法を検討していく。共保ポンプ場の排水能力は、現在3台で毎秒4.4m³となっている。5年確率に対応する場合、毎秒2.8m³の上乗せが必要であると試算している。

問 江戸川河川防災ステーション内に市の学習センター、避難所等を建設する計画の概要は。

答 市が建設する水防センターの規模等は未定。今後地域の皆様と協議を行い、検討していく。

◆公費負担を増やし、国保税引き下げを

問 全国知事会などは、協会けんぽ並みに国保税を引き下げるために公費負担の増額を求めている。市の見解と、国・県への要望の取り組みは。収入のない子どもの均等割軽減の考えは。

答 国の責任において財政措置を含めた均等割保険税を軽減する支援制度の創設を国に要望している。

ケアラーを一人にさせない
地域支援の充実を



岩田 京子

問 ①埼玉県議会では「埼玉県ケアラー支援条例」が議員提案されていますが、吉川市のケアラー支援についてお聞かせください。

②ケアラー支援者育成のための介護者支援セミナーの開催についての見解は。

答 ①令和2年度は包括支援センターで年3回「介護者のつどい」を開催予定。また、精神的、身体的負担の高いケアラーに対する理解の醸成に努める。②今後、高齢者数の増加に伴い、在宅介護も増加する見込み。県の動向を注視しながら、担い手育成についても検討が必要。

◆SDGs達成に向けた具体的な取り組みについて

問 ①「二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」しませんか。②「プラスチック・スマート宣言」しませんか。

答 ①温暖化対策への取り組みを表明する形の一つとして検討していく。②宣言はしていないが、令和元年5月29日付で市が主催する会議においてペットボトルでの提供を控え陶器やカップ等を使用するよう全職員に周知した。

確実な避難情報の伝達に
戸別受信機の設置を問う



吉川 敏幸

問 埼玉県加須市は昨年12月議会で、台風19号の経験から災害時に避難指示などの情報が確実に届けられるよう全4万7千世帯に戸別受信機の無償貸与を決定した。当市においても、救える命は必ず救うという気概を持って災害弱者を中心に戸別受信機の配備を進めるべきと考えるが、市の見解は。

答 戸別受信機の配備については、災害弱者の方々に対しての確実な避難情報等の伝達手段の一つとして認識しておりますが、市といたしましては、「よしかわ安心電話」のみならず、防災行政無線の補完措置として費用対効果の高い情報伝達手段について、調査研究を進めてまいります。

◆交通弱者の投票権をどうすべきと考えるか

問 より民意を反映させるために、投票に行きにくいけど行けない交通弱者の方々の民意を反映させるために、市はどうお考えか。

答 他市町におきまして、地域の実情に応じた対応策の一つとして、循環バスの運行など対応している事例を把握しております。選挙管理委員会といたしましては、研究してまいります。

議員提出概要

請願

請願とは、国民に認められた憲法上（第16条）の権利の一つで、国または、地方公共団体の機関に対して意見や希望を述べることを行い、その手続き等は、請願法によります。
市議会への請願には、市議会議員の紹介が必要です。

吉川市におけるパートナーシップの認証制度（仮称）および性的少数者に関する諸問題への取組みに関する請願

提出者

古賀 茜

紹介議員

五十嵐恵千子 議員

齋藤 詔治 議員

雪田 きよみ 議員

稲葉 剛治 議員

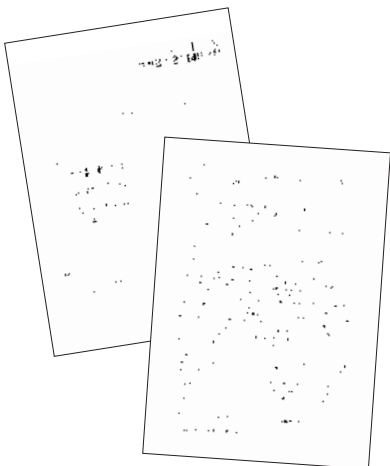
【要旨】

① 吉川市の教育、福祉、医療、就業、その他の行政活動において、性自認、性的指向による差別を許さないための諸施策を講じていただきたい。

② 吉川市で、同性同士で生活する者も含め家族として扱う「パートナーシップの認証制度（仮称）」を早期に創設し、その存在を公に認めることで、性的少数者にとっても住みやすい、魅力的あるまちづくりをしていただきたい。

【理由】

各地において性的指向や性自認による偏見や差別のない社会を目指すためのLGBT配慮キャンペーンが実施され、オリンピック憲章には「性的指向による差別の禁止」が明文で盛り込まれています。家族を形成し、社会から承認を得ることは人としての根源的な欲求で重要な人権問題です。しかし、異性愛者には、家族を形成し法的に保護がされる一方で、同性等と親密な関係を築きたい人を排除している現状です。誰もが自分らしく生きられる吉川市を実現するために、一日も早く取り組みを進めていただくことを切望しています。



請願討論

本請願に対し、3名の議員が討論を行いました。

賛成討論

○公明党吉川市議団

大泉 日出男

誰もが輝く社会の実現へ国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の誰一人置き去りにしない理念と同様に、わが市においても幅広く性の多様性を認め合い、イベント、啓発紙の発行をしていく事で周知、認知されていくものと考えます。愛する人と家族として生きていきたい、という請願者の思いを受けとめ、住みやすい魅力あるまちづくりを進め自分らしく生きられる吉川市を実現する為にパートナーシップの認証制度（仮称）を早期に創設すべきと考え本請願に賛成致します。

○未来会議よしかわ

林 美希

生まれ持つての身体の性別のみで役割を固定される機会の多さ、それによりひとりひとりの能力がエンパワメントされないことによる社会の損失の大きさ、これらは非常に大きな社会課題であると考えます。

周知啓発なき制度の早期創設は当事者

の方を今以上に無理解の矢面に立たせてしまつのではとの懸念はあるが、市の方向性、請願者との内容確認において周知啓発についての考えが確認できた。誰もが生きやすい社会の実現のため、請願に賛成の立場を示す。

○日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ

ジェンダー平等社会の実現を目指す今の時代に、異性婚者には当たり前に認められている権利が、同性カップルには認められていません。本当に残念です。全国でパートナーシップ条例を創設する自治体が増えていきます。パートナーの入院や手術時に、同性パートナーに同意書にサインする権利や、生命保険の受取人としても認められます。

本来は国が法整備するべきです。しかしそのためにも、まずは吉川市にもパートナーシップ認証制度を創設し、自治体からの動きを作ることが求められます。



議員提出概要

意見書

意見書とは、地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には4件の意見書が提出され、次の1件が採択されました。

中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

ひきこもりは主として若年・青年層の課題としてイメージされてきた。しかし最近では、就職氷河期世代も含め中高年層に及ぶ大きな社会問題としてクローズアップされてきている。ひきこもり期間の長期化や高齢化により、高齢者の親とともに社会的に孤立するケースも少なくない。

政府としては、これまで都道府県・政令市への「ひきこもり地域支援センター」の設置や「ひきこもりサポーター養成研修・派遣事業」を行ってきたが、今後は、より身近な場所での相談支援の実施や社会参加の場の充実など、就職氷河期世代も含めた中高年のひきこもりに対して、これまで以上に実効性ある支援と対策を講じるべきである。



そこで政府におかれては、中高年のひきこもりは、個々人やその家族だけの問題ではなく、社会全体で受け止めるべき大変重要な課題と捉え、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

1 より身近な場所での相談支援を行うため、自立相談支援機関の窓口アウトリーチ支援員を配置し、同行相談や信頼関係の構築といった対本人型のアウトリーチ支援を実施すること。また、自立相談支援の機能強化に向けたアウトリーチ等を行うための経費については、新たな財政支援の仕組みを創設すること。

他2項目

3月定例会審議結果一覧

○ = 賛成、× = 反対、議 = 議長(議決に加わりません)
◎ = 議案提出者、— = 退席

	議決結果	自由民主党			市民の会			未来会議			共産		公明		無	無					
		赤出川義夫	吉川敏幸	加藤克明	中嶋通治	松崎誠	岩田京子	稲垣茂行	伊藤正勝	齋藤詔治	稲葉剛治	戸田馨	林美希	遠藤義法	飯島正義	雪田きよみ	小野潔	五十嵐恵千子	大泉日出男	成本直寛	降旗聡
《市長提出議案》																					
吉川市道路の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市税条例及び吉川市手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市債権管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市文化芸術振興基金条例	否決	×	×	議	—	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
吉川市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員のサービスの宣誓に関する条例及び吉川市職員公務災害等見舞金支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市一般会計補正予算(第5号)修正案	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
令和元年度吉川市一般会計補正予算(第5号) 《修正部分を除く原案》	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度吉川市下水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市一般会計予算修正案	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○
令和2年度吉川市一般会計予算 《修正案を除く原案》	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○


	議決結果	自由民主党					市民の会			未来会議			共産		公明		無	無			
		赤出川義夫	吉川敏幸	加藤克明	中嶋通治	松崎誠	岩田京子	稲垣茂行	伊藤正勝	齋藤詔治	稲葉剛治	戸田馨	林美希	遠藤義法	飯島正義	雪田きよみ	小野潔	五十嵐恵千子	大泉日出男	成本直寛	降旗聡
令和2年度吉川市介護保険特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市水道事業会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市下水道事業会計予算	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
訴えの提起について	否決	×	×	議	—	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
訴えの提起について	否決	×	×	議	—	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
令和2年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	否決	×	×	議	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×
《請願》																					
吉川市におけるパートナーシップの認証制度(仮称)および性的少数者に関する諸問題への取組みに関する請願	採択	—	—	議	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○
《議員提出議案》																					
中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○
中東への自衛隊派遣の撤退を求める意見書	否決	×	×	議	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	○
消費税率5%への引き下げを求める意見書	否決	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	◎	○	×	×	×	×	×	×
後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書	否決	×	×	議	×	×	○	○	×	×	×	×	×	◎	○	○	×	×	×	×	○

*会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、「自民」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」の略です。「無」は会派に属さない者です。

～新型コロナウイルス対応への
ご協力ありがとうございました～

3月定例会中では、新型コロナウイルス対応に伴う傍聴自粛にご協力をいただきありがとうございました。

引き続き、手洗い・うがい・咳エチケットなど、感染症対策にお努めいただきますよう、ご協力お願いいたします。



◆ご意見・ご感想を
お寄せください◆

〒342-8501
吉川市きよみ野一丁目1番地
吉川市役所 議会事務局
FAX 048(981)5392

お詫び

よしかわ市議会だよりNo.184、3ページ、3段目、文教福祉常任委員会、「手話言語条例」において、「市聴覚障害者協会」と表記すべきところ、誤って「視覚障害者協会」と表記しておりました。お詫びして、訂正いたします。

次定例会のお知らせ 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
		6月2日 開会日	6月3日 休会日	6月4日 本会議 (議案審議)	6月5日 委員会 (総務水道・ 文教福祉)	6月6日 休会日
6月7日 休会日	6月8日 委員会 (建設生活)	6月9日 委員会 (請願審査)	6月10日 休会日	6月11日 本会議 (委員長報告)	6月12日 一般質問	6月13日 休会日
6月14日 休会日	6月15日 一般質問	6月16日 一般質問 閉会日	本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子は、ホームページでもご覧になれます。			

*傍聴について

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、傍聴自粛のご協力をお願いする可能性があります。

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。
ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の不安が世界的に広がる中、3月の定例会が開かれました。外出を自粛するムードも広がる中で、議長からも傍聴の自粛をとの呼びかけがあり、傍聴者が非常に少ない議会となりました。「1月の市議選で議会が一気に市民に近づいた感があったのが、コロナウイルスの影響で、また遠い存在になってしまった。」市民の皆さまから、こんな声もいただきました。

3月議会は次年度の市政の方向性、そしてそのためのお金の使い道を決める大切な議会でした。この『議会だより』で、議場での熱い議論の様子を少しでもお伝えできたらと願っています。

雪田 きよみ

表紙の写真



表紙の写真は、川藤の二郷半用水路沿いを彩る桜と江戸川の堤防に咲く菜の花です。暖冬の影響か、例年よりも早い開花となりましたが、どちらもいつもと変わらない美しい姿を見せてくれました。花には心を癒す効果があるそうです。緊急事態宣言が発令され、不安な方も多いと思います。吉川の四季を彩る花々が、少しでも皆さまの不安を取り除いてくれること祈っています。